



小西高吉

～輝ける未来のために～

議会活動報告 NO.21

事務所：香芝市上中 306-1

TEL：0745-76-2089

FAX：0745-51-1129

<http://konishinara.jp/>

感謝！感謝！

4期目のはたらける場へ送っていただき、しっかり皆様のお役に立てるよう頑張ります！

私が香芝市議会議員として活動しようと思ったきっかけは、私が生まれたきっかけにさかのぼります。私には姉がおります。正しくは、おりました。

姉は私が生まれる前に幼くして短い一生(5歳)を終えました。私は彼女が生きていれば、生まれてくる事はありませんでした。私のこの奇遇な命のバトンタッチによって、私は「私が生まれた意味」を考え、生まれたことにより何の為に誰の為に生きて行くのかを考えました。そして今、命ある小さな子どもたち、そして、これから生まれてくる小さな「香芝市民」のために生かそうと思ったのです。幼くして命を落とした姉のためにも。

小西 高吉

平成25年3月議会一般質問

「安心・安全なまちづくり」

1. 大地震の発生について
2. 大地震発生時の対応について
3. 大地震発生時の負傷者の受け入れ体制について

「安心・安全なまちづくり」

1. 大地震の発生について

東日本大震災から2年経ち、香芝市でもいつ起きてもおかしくない大地震の情報収集はどのようにしているのか？

奈良県では、震度6弱の地震が30年以内に発生する確率は70%と言われている。気象庁が発表する地震情報や県の研修会等で地震の情報を把握している。【危機管理官】

香芝市で最大震度6強！

2. 大地震の発生時の対応について

大地震の発生時の各部の対応は？

発生時の時間帯によって異なる。職員の勤務時間内か時間外によって、人員配置も変わってくる。

救援班Ⅱ市内の医師会、歯科医師会、薬剤師会と大災害時の救護体制や医薬品の確保、トリアージ後の措置等。環境班Ⅱ協定機関と調整しつつ応急食糧の調達。

給水班Ⅱインフラ被害調査と避難所や家庭への飲料水供給体制を確保。



被害調査班Ⅱ後々に罹災証明が必要となる

ため、一般民家の被害状況の調査等。調査復旧班Ⅱ救急車や消防車及び物資輸送のため



の道路確保は不可欠で、緊急輸送道路の被害状況の調査や早期の復旧に着手。

避難所班Ⅱ学校教育施設の被害状況の調査及び早期復旧に着手、避難所である各学校へ集合する市民のために、協定機関と調整しつつ避難所を早期開設、学校教諭、自主防災組織と共に管理運営の準備体制の着手

【危機管理官】

トイレの洋式化、早期に！

避難者が避難所に着いて一番にする事は、トイレに行きたいそう。トイレの確保は？

水洗が使用出来ない場合に、屋外でも可能な簡易の洋式トイレを年次的に購入している。

【教育部長】

教育施設のトイレの洋式化が必要だと思いが早期に改善する考えは？

トイレの洋式化は、急ぐ必要があると認識している。関係部局と連携を取りながら早期に進めていく。

【教育長】

飲料水の確保は？

今泉配水場で22,500t、畑配水場で5,000t、高区配水場で1,200t及び耐震性緊急貯水槽を8箇所設置予定。プール浄水器を4箇所、県営水道からの応急給水所を4箇所、浄水器、給水タンク、給水袋等を準備。

【上下水道部長】



問 避難所への道路の確保は？

答 現在、市内には25箇所の指定避難所がある。避難経路の指定はしてない。避難道路については各自防災組織と確認行為を重ねていきたい。

【危機管理官】

問 救援物資等の輸送路の確保は？

答 狭隘道路を拡幅するため、建物の建て替えや取り壊し等に注視し、道路拡幅のため地権者と交渉を重ね、少しずつではあるが年々道路拡幅が進んでいる。加えて建築物の倒壊により引き起こされる人命への危害を防止するため、被災建築物・宅地応急危険度判定士の養成に努めている。

【都市建設部長】

問 阪神大震災の場合、火災により多くの犠牲者が出た。火事の消火に当たる消防団の機庫が狭い道路に面し、家屋の崩壊により道路が通れなくなり出動出来ないと思う。道路幅が広い場所に移動する考えは？



答 今後の大災害を想定し、道路幅の広い場所へ機庫を設置するのが望ましいと考えるが、財政状況や今後の防災拠点の在り方を総合的に計画していく必要がある。指摘内容を視野に入れ、防災行政を展開していく。

問 駅前広場は、広い道路に面しているが、駅前に移動する考えはないのか今後、検討の一つとしていく。

【市民生活部次長】

問 今後、検討の一つとしていく。

【香芝市長】

3. 大地震発生時の負傷者の受け入れ（病院）体制について

問 建物の倒壊等により、下敷き等で負傷者が出た場合の受け入れ病院等の確保は？

答 香芝市地域防災計画において、負傷者の生命・健康を守るため医療救護体制を確率し応急対策を講じることが目的に、昨年の11月に市内の医師会や歯科医師会、薬剤師会と会合を持ち、災害医療協定の締結に向けて打合せを行った。大地震の場合には市内の建物が最大で約4千棟が全壊すると見込まれ、負傷者は1万人を超えるものと推定される。重傷者も多く、市内3病院や拠点病院である高田市立病院、県立医大附属病院のみでは物理的に対応は難しく、大阪府下、近畿圏内の病院まで受け入れ先を拡大して考えておく必要がある

【危機管理官】

香芝市に子どもが、入院出来る病院がない！

問 負傷者の中には、小さな子供も含まれる。そんな中、市内には子供が入院出来る病院が無いことについて、どのように考えているのか？

答 災害時には、足りない認識をしている。一つは、民間の病院の協力（誘致）、樟蔭の跡地に医科大学の誘致。二つ目は、病床数の問題、医師会との連携。常に必要性を訴える。情報収集と発信が必要。【市長】



小西 高吉

こにし たかよし

小児科・産科のある総合病院を香芝市に！

香芝市の出生率は奈良県でトップ！

香芝市は少子化ではありません！
子どもの笑い声溢れる市です。

全国的に少子化傾向のある現代ですが、その中でも香芝市は関西での出生率が第3位、奈良県で第1位と、子育て世帯の多い市です。その象徴となる旭ヶ丘小学校は、全国3位を誇る児童数が在籍しています。利便性と恵まれた自然環境などからこの地を第二の故郷として香芝市に移り住む人々は年々増え続け、人口増加率は毎年トップクラスを記録しています。

急成長の香芝市の姿と裏腹に・・・

お子様や妊婦さんの救急医療で
困ったことはありませんか？

住民にとって最も大切である「安心」と「安全」の核となる医療機関、その中でも特に小児科医療・産科医療（現在市内で2件）が著しく不足しているのが現状です。子どもの急な発病などで遠隔地の病院まで搬送されたりすることが現状おこっています。

香芝市は、2000年に策定された「香芝市総合計画」や子どもを産み育てる支援としての「香芝市エンゼルプラン」にも、救急病院、医療施設の充実を明確に掲げているにも関わらずその進展ぶりは遅々としたままです。

地域に根ざした小児科・産科（民間総合病院）は、未来を担う子どもたち・子育てを頑張る子育て世帯の方々とは切ってもきれない問題です。多くの方から賛同を得ながら、初当選から市・県への要請、民間企業の誘致、署名活動など、努力を重ね一歩ずつ前へ進んでおります。

市民の皆様の切実なお声が1日でもはやく実現できるよう
どうか、一人でも多くのご賛同をお願いします！

